

使用貸借契約書（例）

_____を甲とし、医療法人 会 設立代表者_____を乙として、甲乙両当事者は、次のように使用貸借契約書を締結した。

第1条 貸主甲は、その所有にかかる別紙記載の物件を次条以下の約定で借主乙に貸渡し、無償で使用、収益をなすことを約し、借主乙は、これを承諾したうえ別紙記載の物件を受け取る。

第2条 前条の使用貸借期間は本契約効力発生の日から2年間とする。ただし期間満了に際し、甲及び乙において解約の意思表示をしないときは、自動的に2年間延長するものとし、その後も同様とする。

第3条 借主乙は、第1条の借用物をその用法に従って使用、収益しなければならない。また、借用物を第三者に使用、収益させてはならない。

第4条 借主乙は借用物の通常費を負担する。

2 借主乙がその責に帰すべき事由により借用物を滅失または毀損したときは、貸主甲が被った損害を直ちに賠償しなければならない。

第5条 本件は長崎県知事の医療法人設立認可の日をもって発効するものとし、同法人が設立のうえは、乙の表示は医療法人 会 理事長_____と読みかえるものとする。

第6条 借主乙がこの契約に違背したときは、貸主甲は直ちに契約を解除することができる。

上記契約を証するため本契約を2通作成し、各自記名捺印のうえ各々1通を保有するものとする。

平成 年 月 日

甲 住所
氏名 印

乙 住所
氏名 医療法人 会
設立代表者 印